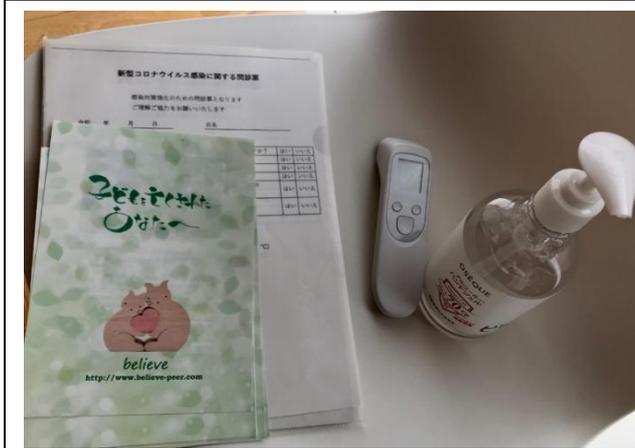


2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	『ピリーブメントケアチーム ピリーブ』
活動テーマ	『ピリーブのじかん ～ 最愛のお子さまを見送られたご両親と、同じ経験をもつピリーブのメンバーが美味しい お菓子と飲み物を楽しみながら友のように過ごす、カフェスタイルのつどい～』



毎月第一日曜日の午後、大阪市鶴見区にある TSURUMI こどもホスピスの広場連携ルームをお借りして、ピリーブメンバーと子どもを亡くしたご両親が自由に語り合う“カフェスタイルのつどいの場”が、『ピリーブのじかん』です。メンバーは、全員子どもを亡くした経験をもち、こころのケアに関する一定の研修を受けた母たちです。最愛のお子様を見送られたご家族と、同じ経験をもつメンバーが、友のようにお話を伺います。陽射しが降り注ぐ落ち着いた環境の中、季節を感じる美味しいお菓子とお茶をご用意しています。子どもを亡くしたご両親は、悲嘆のあまりに自分を労わることに気持ちが向かなくなる方が多くいらっしゃいます。そのような方に少しでも心が癒されるひとときを過ごしていただくことが、ピリーブの願いです。ご対象は、「生計をひとつにする、独立していない、30歳位までのお子さまを亡くされた親御さん」とさせていただきます。

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、従来の対面での活動を根本から見直す1年となりました。対面でのカフェや訪問活動ができない中、それでも活動の再開を待ってくださる方々に支えていただきながら、オンライン（Zoom）での活動を模索し、後半期より Zoom を活用した活動も開始しました。共通体験者同士だからこそ共感し合えるあたたかな時間。子どもを亡くしたご両親が、悲しみの気持ちを抱えながらも生きる意欲をとり戻し、亡くなった子どもさんとの絆を大切にすることで明日へ歩を進めてゆくことができるようになる…。その一助に、この場所がなれば…。と思います。